

V.G概論だより

会報第 39 号
発行日 平成 19年 12月 31日
発行・編集 V・G 概論
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介

真上地区

芥川の自然と郷愁に誘われるまち

真上地区

まかみ ちく

教宗寺

おんしんじ

真上の地名の由来は、平城京の遺跡から出土した木簡より奈良時代この地は白髪郷（シラカミゴウ）又はシラカゴウと呼ばれていた、三島上郡白髪郷と記されている。やがて同じ音である真上（又は真神・万賀美）に変わり、90年に島上郡真上郷と記されています。真上地区は、8世紀中葉の天平玉宇6年（764）に時の文部大臣「石川年足」を葬った地として古代史に現れて以来、明治までその地域的なまとまりが殆どなかったという特殊な地域です。古代真上郷が荘園化した「真上庄」はすべて12世紀初頭の元永2年（1119）に宇治平平等院の領地として現れ、鎌倉時代には芥川氏一族の真上氏が代官として住んでいた。その庄域は後にはほぼそのままの大ききで江戸時代の真上村に変わっていったと言われている。

「神恵山教宗寺」は浄土真宗本願寺派に属し、本尊は阿彌陀如来である。田淵久兵衛教宗が親鸞上人の弟子となつて専ら名のり、158年に自宅を寺院に改めたのが教宗寺の創始と伝えられている。その後、寺は大破したため、元禄5年（1698）年に再建。境内には本殿、庫裏、鐘樓堂などがある。又、昔の石風呂といわれる石槽は大阪府指定有形文化財です。この度、成喜建設株が本殿の改修をしておられ、倉本社長らの好意で、寺院の改修現場を見学させて頂く。本堂は明治40年（1907）に改修工事が行われている。全体調査を行った中で、当時の社会情勢の面影が浮かんだとのこと。当時の教宗寺再建に携わった方々の思いを大事にくみとり、その思いをこの度の技法の中に仕組み、古いものを生かし新しく開発（改善）するこ

阿久刀神社

あくとじんじや

とをコダワリとして、全て手作り工法を採用している。道路に面して「鳥居」が建っていて、神社の説明板石碑が有る。ここから奥が「阿久刀神社」の境内になっている。「阿久刀神社」は醍醐天皇延長5年（827）年に編集された延喜式神名帳に記載された式内社二八六一の社の一社である。創建時期についてはよくわからないらしいが、延喜式神名帳に記載された以前からあったことは確かである。



ありては千餘年前に創建され、現在もその姿を留めている。

れたように田んぼの景色が広がり、その先に見えるのが真如寺。土手の小さな道を降りると、低く連なる古びた土塀が目に入り郷愁に誘われる。境内には雲雀鳴く、中の拍子や雉子の声（芭蕉）の句碑がある。高槻市安岡寺町北部の丘陵に発し南へ流れ、安岡寺町と寺谷町の境を流れ、浦堂地区を貫流し、西真上一丁目と二丁目の境で芥川左岸に注ぎます。「寺谷川」ともいわれています。真如寺の住職は、真如寺川が上流から下流に落差が大きく、上流域の都市開発や大雨で鉄砲水が出るのを危ぶまれています。カワセミは「清流の宝石」と言われる美しい鳥で、漢字では翡翠（ヒスイ）と書きます。くちばしが上下とも黒いのが雄で上が黒く下が赤いのが雌です。石や木に止まって体をヒクッヒクッと動かしながら水中の魚をねらい、見つけるとダイビングして捕まえます。カエルやエビなども食べます。「ツイー」と鳴きながら飛びます。



境内には本殿や拝殿、天照大神・大將軍など末社のほか、20m高、余りの樹木、驚くべき巨木がある。

真如寺川

まじょがわ

高槻の野鳥

たけののり

高槻市安岡寺町北部の丘陵に発し南へ流れ、安岡寺町と寺谷町の境を流れ、浦堂地区を貫流し、西真上一丁目と二丁目の境で芥川左岸に注ぎます。「寺谷川」ともいわれています。真如寺の住職は、真如寺川が上流から下流に落差が大きく、上流域の都市開発や大雨で鉄砲水が出るのを危ぶまれています。カワセミは「清流の宝石」と言われる美しい鳥で、漢字では翡翠（ヒスイ）と書きます。くちばしが上下とも黒いのが雄で上が黒く下が赤いのが雌です。石や木に止まって体をヒクッヒクッと動かしながら水中の魚をねらい、見つけるとダイビングして捕まえます。カエルやエビなども食べます。「ツイー」と鳴きながら飛びます。

1月度行事予定

“新春の摂津地区を散策：総持寺・三島町地区”

日：平成 20年 1月 17日（木） 13：00集合
集合場所：阪急総持寺駅（西出口：駅員常駐口）
路：阪急総持寺駅→総持寺→光明寺→水磯良神社→新屋坐天照御魂神社→鴨神社→阪急富田駅（天候により順路を変更します）
その他：総持寺では住職に説明して頂く予定です。

2月度行事予定

“1200年前の都と物集女街道の文化にふれる：向日市”

日：平成 20年 2月 21日（木）
集合場所：阪急向日駅 改札出口 13：00集合
路：阪急向日駅→築港講堂夜灯→向日市文化財資料館→須田家住宅→勝山緑地（元稻荷古墳）→向日神社→向日市天文館→説法石→長岡宮大極楽跡→阪急西向日駅
向日市文化財資料館では館内の説明をお願いしています。